

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

- 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
E-mail klg110@town.kosa.lg.jp

言葉の力がじんわり心に染みってくる 木皿 泉著 / 『昨夜のカレー、明日のパン』



河出書房出版

小説

悲しいのに、幸せな気持ちにもなれるんだ…。7年前、25歳で亡くなった一樹。結婚2年で遺(のこ)されてしまった嫁・テツコと、一緒に暮らし続ける一樹の父・ギフは、周りの人々と共にゆるゆると、彼の死を受け入れていく。重い主題を包み込む、優しい言葉の力に癒やされます。日々の何げない暮らしの大切さに気付かされる1冊です。

アンパンマングッズを手づくりしよう 日本ヴォーグ社編 / 『アンパンマンの手づくりおもちゃ&グッズ』



日本ヴォーグ社

娯楽教養

フェルトや布を使って、マスクや知育おもちゃ、布絵本など、アンパンマンキャラクターの手づくりグッズを、オールカラーの作り方付きで紹介。新学期前の今の時期から準備を始めた通園バッグや上履き入れ、エプロンなどもあって、アンパンマン好きのお子さんはきっと大喜び！親子で楽しみながら作ってみてはいかがでしょうか。

復興予算19兆円の流用問題を徹底検証 福場 ひとみ著 / 『国家のシロアリ』



小学館

一般書

「復興予算19兆円を奪ったのは誰だ！なぜ、復興予算が霞ヶ関の庁舎や沖縄の道路に使われたのか！」。流用問題をスクープした記者が、流用はどのようにして起き、また流用を仕組んだのは誰だったのかを徹底検証した、小学館ノンフィクション賞優秀賞受賞作品。この驚くべき事実を前に、本当の復興とは何か、深く考えさせられます。

和食の基本を子どもたちに伝えよう 服部 幸應ほか監修 / 『和食のすべてがわかる本』



ミネルヴァ書房

児童書

世界無形文化遺産に登録された「和食」。日本人は自然の恵みを活用し、素材の味わいを生かす調理法を発達させてきました。この素晴らしい「和食」について、子どもたちに、食の歴史や伝統料理、調理法から食事作法に至るまで、「和食」の基本を伝えていくためのシリーズ第1巻。親子で読むと、より楽しく「和食」を知ることができます。

町生涯学習センター図書室のご利用について

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週火曜日、年末年始
- 貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

私が紹介するのは、恒川光太郎作『夜市』という作品です。

この物語の舞台となるのは、夜市という不思議な市場です。そこでは、日常では決して手に入らないさまざまな品物が売買され、しかも、売る側も買う側も人間ばかりとは限りません。

さらに、一度そこへ足を踏み入れたなら、「何か買物をしていないと市から出られない」というルールまであります。

今月の案内人



郷 史嘉さん
(北早川区)

この物語

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『夜市』(恒川 光太郎著)

妖怪たちがさまざまな品物をお不思議な市場「夜市」。ここでは望むものが何でも手に入る。大切なモノを取り返すため、青年は再び夜市を訪れた。

の主人公は、そんな夜市を訪れた経験を持つ青年です。彼は幼少期に夜市に迷い込み、そこから脱出するために自身の大切なモノを身代わりにしてしまいます。そして、それを取り返すために再び夜市を訪れるというのが本作のあらすじです。

本作はホラーに分類されますが、怖すぎることもなく、終始読みやすい内容になっています。



また、各登場人物も不思議な雰囲気を持つ魅力的な者ばかりで、登場人物一人一人の存在感が作品全体の妖しさをより際立たせ、全く先の読めない展開に最後まで飽きることなく読むことができました。

皆さんも、夜市を舞台に紡がれる罪と赦(ゆる)しの物語を是非ご一読ください。